

個性と意欲で秋田大学にチャレンジ!
自ら掴む。



秋田大学理工学部

平成30年度 アドミッション・オフィス(AO)入学試験要項

「学力」に偏ることなく、「個性」「意欲」「積極性」なども含めて 合格・不合格を総合的に判定する入試が アドミッション・オフィス入試（AO入試）です。

秋田大学工学部のAO入試は、「自己アピール書を含む提出書類」「講義を受講した後に提出するレポート」「ていねいな面接」により、筆記試験では評価できない受験生のさまざまな能力を評価し、総合的に判定して合格・不合格を決定します。

AO入試の特色

他の入試（推薦入試や一般入試等）の出願前に合格発表を行います（大学入試センター試験の受験は課しません）。また、大学生活をより有意義なものにできるように、合格者に対する入学前のサポートを行っています。

AO入試で求める学生像

- 1 きらりと光る個性を持っている人
- 2 秋田大学工学部で学ぶことに強い意欲を持っている人
- 3 地域の発展や世界の発展に強い関心を持っている人

募集コースおよび募集人員

■ 生命科学コース	5名	■ 応用化学コース	4名
■ 材料工学コース	2名	■ 数理科学コース	3名
■ 電気電子工学コース	10名	■ 人間情報工学コース	6名
■ 機械工学コース	8名	■ 創造生産工学コース	4名
■ 土木環境工学コース	2名		計44名



【生命科学コース】
基礎化学実験（1年次）の様子



【応用化学コース】
ホールビベット、ピュレットを用いた
分析化学実験（2年次）の様子



【材料工学コース】
磁性薄膜を作製するための準備の様子

理工学部について

1910年の鉱山専門学校の設定に始まる100年の伝統を有する工学資源学部は、平成26年度から理工学部生まれ変わりました。わが理工学部の理念は、理学分野の基礎知識に裏打ちされたモノづくり・コトづくりのできる人材育成です。学部の構成は、生命科学科、物質科学科、数理・電気電子情報学科、システムデザイン工学科の4

学科体制であり、これらの学科では、高齢者対応の技術開発・研究、新しい素材の開発研究、環境浄化技術の開発・研究、ロケットなどの宇宙輸送機・構造物に関する開発・研究、津波災害および雪害に関する地域防災の研究などにおいて世界レベルの技術開発・研究を推進し、高度な技術者・研究者を育成します。

理工学部における教育制度の特徴

今日の理工学分野においては、国際的にもまた地域社会においてもその課題が多様化し、解決のための技術も高度化していることから、学際分野も含めた総合的な視野に基づく、先進的かつ独創的な学術研究を行う人材が必要とされています。このような人材を養成するうえで、次のような教育制度を設定しています。

◎6年一貫教育

理工学部の各分野に必要な数学、理科(物理、化学、生物)を主に低学年で徹底理解させる教育カリキュラムを編成して特定の専門分野に偏らない幅広い学習を可能とし、高学年および大学院理工学研究科において、それぞれの専門分野における「6年一貫教育」を理想とした先端理工学教育を実践します。これにより、社会の要請を理解し、専門知識を活かしながら論理的思考に基づき自ら課題を発見・解決できる力を身につけた人材の養成を行うことが可能となります。

◎転学科・転コース制度

理工学部では、従来の学科の垣根を取り除き、分野ごとに複数のコースを設定するコース制を採用しています。転学科・転コース制度の適用希望者に対しては1年次の末に審査を行い、許可された場合、2年次から転籍することになります。ただし、申請しても審査により申請が拒否される場合もありますので留意してください。



【機械工学コース】

教員と一緒に歩行訓練ロボットの動作実験を行う様子



【創造生産工学コース】

プロジェクト実践研究におけるロケットエンジン燃焼実験



【土木環境工学コース】

オンサイト土橋の施工を手伝う学生たち

AO入試概要

I 出願資格

AO入試に出願することのできる者は、次のいずれかに該当する者とします。また、合格した場合、入学を確約することができる者とします。

- 1 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および平成30年3月卒業見込みの者
- 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および平成30年3月卒業見込みの者
- 3 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条(第6号を除く)の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力が認められる者および平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者

II 出願手続

- 1 「平成30年度AO入試学生募集要項」(平成29年7月上旬公表予定)に基づき、手続を行ってください。
- 2 出願期間 平成29年9月7日(木)～9月13日(水)(必着)
- 3 検定料 17,000円

III 選抜方法

講義と面接を実施し、提出書類、講義を受講した後に提出するレポートの結果、および面接の結果を総合的に評価して選抜します。

- 1 選抜期日
平成29年9月30日(土)8:30～
- 2 合格者の発表
平成29年10月13日(金)
合格者の受験番号を学内に掲示および秋田大学ホームページ内「入試情報」ページに掲載するとともに、合格者には本人宛に通知します。なお、電話等による照会には一切応じません。
- 3 入学手続期間
平成29年10月19日(木)～10月24日(火)(必着)
- 4 詳しくは、「平成30年度AO入試学生募集要項」で確認してください。

IV その他

- 1 AO入試による選抜方法は理工学部が求める学生像に適した資質を問う選抜なので、合格者数は募集人員に満たない場合があります。その場合の欠員は理工学部が実施する今後の選抜試験で充足します。
- 2 入学手続が完了したときは、本学および他の大学を受験しても入学許可は得られません。
- 3 入学手続が完了した合格者には、入学前教育の指導を行います。

STEP 1

STEP 2

STEP 3

STEP 4

STEP 5

AO入試に少しでも興味があるかたは

AO入試に少しでも興味のあるかたは、平成29年7月29日(土)のオープンキャンパスに参加してみてください。理工学部について詳しい情報を知ることができます。また、オープンキャンパスのときに「平成30年度AO入試学生募集要項」を配布する予定です。

オープンキャンパス
平成29年7月29日(土)

AO入試の受験を決めたら

AO入試の受験を決めたら、平成29年7月上旬に公表する「平成30年度AO入試学生募集要項」を取り寄せた後、提出書類をそろえて、締め切りに間に合うように郵送してください。特に、自己アピール書と推薦書が大切です。自己アピール書では遠慮することはありません。どんどん自分をアピールしてください。そして推薦書は、秋田大学関係者と自分以外ならば誰に書いてもらってもかまいません。もちろん、保護者や兄弟、友人でもいいのです。

出願期間

平成29年9月7日(木)～
9月13日(水)

入学試験日(講義・面接)

平成29年9月30日(土)

合格者が発表されたら

平成29年10月13日(金)に選抜の結果を発表します。合格発表を学内に掲示およびホームページに掲載します。さらに合格者には本人宛に通知します。なお、電話などによる照会には一切応じません。合格ならば、来年4月から秋田大学の学生です。不合格であったとしても、推薦入試Ⅱや一般入試などの申し込みにはまだ間に合います。

合格発表

平成29年10月13日(金)

入学手続きをするには

合格者には入学手続き書類を郵送しますので、平成29年10月19日(木)～10月24日(火)(必着)までに、入学手続きを完了してください。

入学手続き期間

平成29年10月19日(木)～
10月24日(火)(必着)

入学手続きが終わったら

入学手続きが終わっても安心してはいけません。大学に入る前に何をしておくべきでしょうか？これについては、本学部の教員がアドバイスします(入学前教育)。そのアドバイスに従って、来年4月からの学生生活を楽しくスタートさせる準備をしてください。



【数理科学コース】

初年次ゼミ「数理科学の世界」における
入門セミナーの様子



【電気電子工学コース】

創造工房実習(2年次)での競技会の様子



【人間情報工学コース】

プログラミング実習の様子

理工学部

理工学部では4つの学科に9つのコースを置き、
理学と工学の分野で身につけた新しい発想により
諸課題に取り組む人材を養成します。

**生命
科学科**
定員45名

ライフサイエンス分野のさまざまな課題に 挑戦する研究者・技術者の育成

タンパク質分子の構造や生理機能、疾患原因遺伝子や免疫細胞の活性化機構の
解明、および生物活性分子の合成などを主とする基礎生命科学から医学・薬学・
農学・生命工学分野に貢献できる教育研究を行います。
本学科のコースは「生命科学コース」1コースになります。

● **生命科学コース**

**物質
科学科**
定員110名

先端機能材料や化学プロセスに携わる 研究者・技術者の育成

物質科学科では、原子・分子レベルの物質設計や製造技術を理解し、先端機能材料
や化学プロセスに携わる研究者・技術者の育成を目指します。本学科は、「応用化
学コース」と「材料理工学コース」の2コースから構成されています。

● **応用化学コース**

● **材料理工学コース**

**数理・
電気電子
情報学科**
定員120名

数学・物理から電気・電子、情報通信の 各分野をリードする多彩な人材の育成

数理・電気電子情報学科では、数学・物理の基礎から電気・電子、情報通信の最先
端までの各分野をリードする多彩な人材の育成を目指します。本学科は、「数理科
学コース」、「電気電子工学コース」、「人間情報工学コース」の3コースから構成さ
れています。

● **数理科学コース**

● **電気電子工学コース**

● **人間情報工学コース**

**システム
デザイン
工学科**
定員120名

新しいものづくりができる 実践的な技術者の育成

システムデザイン工学科では、宇宙・地球環境から地域・生活環境に至る幅広い
領域において、ナノ材料から大型構造物、さらには都市システムまでを対象とし、
機械、社会基盤などのシステムを創造的にデザインするための教育研究を行いま
す。本学科は、「機械工学コース」、「創造生産工学コース」、「土木環境工学コー
ス」の3コースから構成されています。

● **機械工学コース**

● **創造生産工学コース**

● **土木環境工学コース**

生命科学科

ライフサイエンス分野のさまざまな課題に挑戦する研究者・技術者の育成

	コースの概要	過去の講義のテーマ (AO入試)
生命科学コース	多様な生命現象を化学と生物学の視点からとらえ、生体を構成する分子レベル、個々の細胞や個体レベル、生物の集団レベルで解明することについて学びます。	H29 代謝／酵素反応／ATPの役割 H28 循環・呼吸器系／赤血球の構造と機能 H27 刺激の受容と反応／内部環境の恒常性／人類の進化

物質科学科

先端機能材料や化学プロセスに携わる研究者・技術者の育成

	コースの概要	過去の講義のテーマ (AO入試)
応用化学コース	無機材料、有機材料、エネルギーに関連した化学工学からバイオプロセスまで幅広い化学の専門分野を学びます。	H29 熱エネルギーあれこれ H28 高分子材料の基礎と力学特性 H27 エネルギーと化学反応
材料工学コース	固体物理学、固体化学、金属材料学、セラミック材料学を中心として基礎科学から材料の工学的応用までの幅広い分野について学びます。	H29 材料の変形特性の調べ方・強さに基づく設計法の基礎 H28 極微の世界の探求 H27 鉄器文明

数理・電気電子情報学科

数学・物理から電気・電子、情報通信の各分野をリードする多彩な人材の育成

	コースの概要	過去の講義のテーマ (AO入試)
数理科学コース	代数学、幾何学、解析学、離散数学、量子力学、電磁気学を中心として、数理科学とコンピュータサイエンスについて学びます。	H29 数列を用いた微分方程式の解法 H28 簡単な微分方程式の解法 H27 合同式とその応用
電気電子工学コース	電力工学、半導体デバイス工学、計測エレクトロニクス、電気機器学を中心として、電気・電子・情報・通信工学を支える基礎技術について学びます。	H29 物質の中の電子の動きとその応用 H28 電気回路(重ね合わせの原理) H27 電気回路(四端子回路)
人間情報工学コース	ヒューマンコンピュータインタラクション、福祉情報工学、画像解析学、情報通信とネットワークを中心として、コンピュータサイエンスを基礎とした高度な応用技術を学びます。	H29 ヒトと情報化社会 H28 画像処理の基礎 H27 コンピュータの仕組みと高信頼化の取り組み

システムデザイン工学科

新しいものづくりができる実践的な技術者の育成

	コースの概要	過去の講義のテーマ (AO入試)
機械工学コース	材料力学、流体力学、熱力学、機械力学、制御工学、ナノテクノロジー、医療工学、バイオメカニクス、ロボット工学を中心として、あらゆる産業の基盤をなす機械工学について学びます。	H29 機械を支える“機械材料工学” H28 ラマン分光法による機械材料の表面分析 H27 バイオメカニクスを考慮した医療福祉機器開発
創造生産工学コース	設計工学、創造製作学、電気電子回路、システム制御工学、ロケット工学、プロジェクト実践研究を中心として、工学分野について幅広く学びます。	H29 製品への価値の作りこみについて H28 機械の振動と共振について H27 相変化を伴う熱伝達について
土木環境工学コース	構造設計学、建設材料学、地盤防災工学、環境水理学を中心として、安全・安心・快適な地域環境を創造・保全する技術について学びます。	H29 津波の事前対策 H28 橋をつくるのはどんな材料？ H27 地盤の生成からみた地球の温暖化

(注)「過去の講義のテーマ (AO入試)」の年は受験者の入学年度です。

Q&A

AO入試の疑問にお答えします

Q1 AO入試と推薦入試とはどう違うのですか？

A1 推薦入試は学校長の推薦書が必要ですが、AO入試は、あなたのことを良く知っている人の推薦書があれば受験できます。したがって、より多くの方が受験でき、さまざまな個性を持った人に入学機会が与えられます。

Q2 AO入試を受験するメリットはどこにありますか？

A2 大学入試センター試験の受験は課しません。また、推薦入試や一般入試の出願前に合否が分かるので受験のチャンスが増えます。さらにAO入試の合格者は、入学前から本学部の教員のアドバイスによる入学前教育を行いますので、よりスムーズに大学生活に入っていくことができると思います。

Q3 AO入試の面接で基礎学力について質問するのはなぜですか？

A3 大学入学後、講義や受験などにスムーズに取り組むために基礎学力は必要だと思います。そのため、合格発表後も、入学前教育や自学学習によって学力を維持することが大切です。

Q4 AO入試のときに受講する講義のレポートはどのようなものですか？

A4 各コースごとに講義を行い、講義中に与えられた課題に対する解答を、レポート用紙にまとめて提出してもらいます。

Q5 AO入試を受験するために、高校の授業を欠席しなければならないのですか？

A5 AO入試は、土曜日に行いますので、高校の授業への影響は少ないと思います。

Q6 AO入試のことをもっと知りたいのですが、どうしたらよいのでしょうか？

A6 秋田大学入試課(TEL.018-889-2313)までお問い合わせください。また、7月29日(土)のオープンキャンパスでもAO入試について詳しい情報を知ることができるので、是非参加してみてください。なお、高校等からの依頼があれば、高校等を訪問して説明することもできます。

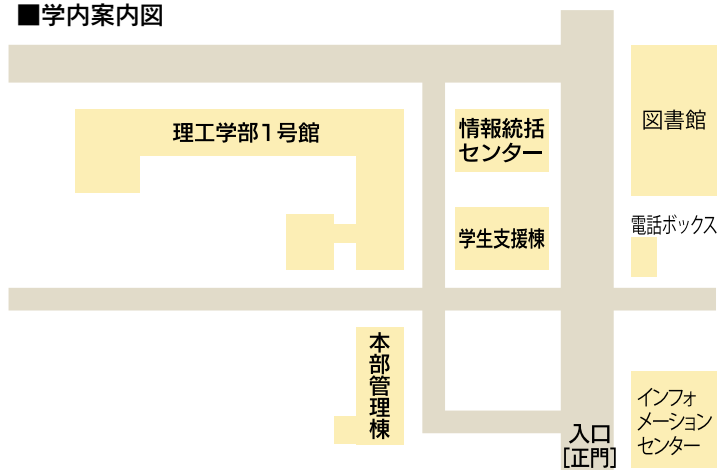


アクセス

秋田大学理工学部へ

- 秋田駅(西口)バスのりば12番から秋田中央交通手形山經由大学病院線に乗りし、「秋田大学前」下車徒歩1分(所要時間約10分)
- 秋田駅(東口)から秋田大学まで約1.3km(徒歩約15分)

■学内案内図



AO入試に関するお問い合わせ先

秋田大学 入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号 TEL.018-889-2313 FAX.018-835-9924
URL <http://www.riko.akita-u.ac.jp>